



すいたの環境

—吹田市環境白書—

平成30年版（2018年版）

はじめに

2016年11月、採択からわずか1年弱で発効された地球温暖化対策に係る2020年以降の新たな国際枠組である「パリ協定」の着実な実行に向け、昨年11月に開催された第23回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP23)においては、「パリ協定の実施指針交渉に向けた土台づくり」や「タラノア対話(世界全体の排出削減の状況を把握し意欲を向上させるための対話)の基本設計の提示」等の成果が挙げられました。

我が国は、本年4月に「第5次環境基本計画」を閣議決定しました。持続可能な社会に向けた基本的な方向性として、「SDGsの考え方も活用することによる、環境・経済・社会の統合的向上の具体化」や「地域資源の持続可能な形で活用」等が掲げられています。

また、本年7月には、2030年のエネルギーミックスの確実な実現へ向けた取組の更なる強化を行うとともに、新たなエネルギー選択として2050年のエネルギー転換・脱炭素化に向けた挑戦を掲げる「第5次エネルギー基本計画」が閣議決定されるなど、取組が進められています。

本市においては、近年の市域のエネルギー消費量や温室効果ガス排出量は減少傾向にありますが、目標達成は厳しい状況です。これらの内訳を見ると、家庭部門と業務部門の合計が5割を超えている状況です。今後、節エネルギー、省エネルギー、再生可能エネルギーの導入などを中心に市民・事業者によるライフスタイルや事業活動の転換へ向けて、さらなる取組が必要です。

本市は、これらの取組を進めるため、引き続き「第2次環境基本計画 改訂版」及び「地球温暖化対策新実行計画改訂版 すいたんのCO₂(こつこつ)大作戦 R」を着実に推進します。

本書は、本市が実施している環境施策の進捗状況と環境の状況についての報告書です。本書をとりまとめることで、環境基本計画に掲げた目標の到達度合いを確認し、施策の見直しや充実を図ります。あわせて、身近な環境に関心を持ち、自らのライフスタイルを環境の視点から見直すきっかけとなれば幸いです。

——環境白書の編集について——

この環境白書は、吹田市環境基本条例に基づいて毎年発行しているものです。

平成30年版(2018年版)は、データや集計結果については、平成29年度(2017年度)における実績をとりまとめました。それ以外の記述は、平成30年(2018年)10月初旬時点での状況です。

本書は、現在課題となっていることにスポットをあて、まとめています。詳細なデータは資料編にまとめ、吹田市ホームページに掲載しています。本書とあわせてご活用ください。

表紙：はぎのきこども園のヒートアイランド対策の一環として実施された屋上緑化の景観

裏表紙：(上段)同園に設置されている太陽光発電システム(5kW)

(下段)同園の外観。手前側のスペースでは、本市のごみを焼却した灰からできた熔融スラグをリサイクルしたブロックを活用しています。右図は熔融スラグをリサイクルしたものであることを表示するもので、前述のスペースにも1つ埋め込まれています。



目次

第1章 吹田市の環境政策	1
第2章 目標達成への施策の展開	
第1節 エネルギー	3
限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	
第2節 資源循環	11
資源を大切にする社会システムの形成	
第3節 生活環境	15
健康で快適な暮らしを支える環境の保全	
第4節 みどり	25
みどりを保全・創出・活用し、市民に親しまれるまちの形成	
第5節 都市環境	29
快適な都市環境の創造	
第3章 重点プロジェクト	35
第4章 環境基本計画に基づく進行管理	37
資料編 環境まちづくりデータ	39
(資料編の内容は吹田市ホームページに掲載しています。)	
1 環境基本計画	
2 環境関連条例	
3 環境基本計画の進行管理	
4 環境関連資料	
5 吹田市まちづくり用語集	
6 環境年表	
7 環境記念日	